

## 茨城中央工業団地笠間地区進出第1号

7月12日(火)、茨城中央工業団地笠間地区(長兎路)に第1号として進出した、ジャパンテック株式会社の工場が完成し、竣工式が行われました。

完成した工場では、使用済みのペットボトルを粉砕して洗浄後フレーク状にし、企業技術によって再びペットボトル用の原料となります。工場には地元の従業員も採用され、7月13日から稼働しています。

皆さんが飲んだペットボトルは大切な資源です。すすぎ洗いや分別を行い、企業、市民一体となってリサイクルを進めていきましょう。

県と市では、引き続き同工業団地への企業誘致を推進していきます。

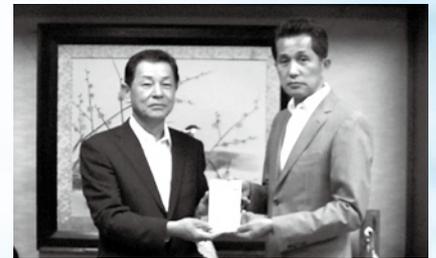


ジャパンテック株式会社工場

## 街の安全のために

元笠間市消防長の杉山 豊すぎやま ゆたかさんから、市に対し寄附金をいただきました。杉山さんは「今まで市の消防には大変お世話になった。それに対するお礼と感謝の気持ちを込めて、今回寄附をさせていただいた。寄附金は、市消防業務に活かして、市民と街の安全のために使っていただきたい」と思いを話してくれました。

寄附金は、大切にに使わせていただきます。



左から杉山さん、山口市長

## スポーツファイル

- 第72回笠間市民ソフトボール  
笠間支部大会「5月22日(日)  
笠間市総合公園多目的広場」  
優勝 南ブレンド  
準優勝 50BABY,S  
第3位 箱田ソフト
- 岩間地区市民ソフトボール  
大会「4月10日(日)岩間B&G  
海洋センター」  
優勝 ドリームズ  
準優勝 吉岡二区  
第3位 桐山  
土師



柿橋ソフトボールクラブ

- 第21回友部地区ソフトボール  
大会(春の大会)「5月22日  
(日)柿橋グラウンド」  
優勝 柿橋ソフト  
準優勝 旭ソフト  
第3位 旭平ソフト  
旭ヶ丘ソフト



▲小学高学年女子  
左から、佐々木さん、  
藤田さん、杉森さん

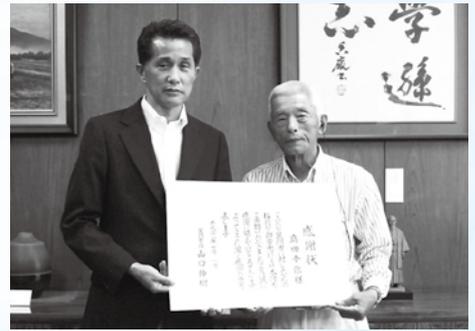
◀中学女子  
左から、関谷さん、  
深谷さん、佐々木さん

- 第42回茨城県少年空手道選手権大会「4月  
24日(日)常陸大宮市西部総合公園体育館」  
【個人戦】  
小学5年女子Aブロック 形の部 優勝  
藤田 凜ふじた りん  
小学1年女子Aブロック 形の部 優勝  
深谷 陽菜ふかや ひな  
【団体戦】  
小学高学年女子 組手の部 優勝  
杉森 萌衣、藤田 凜、佐々木 瑠美すぎもり めい、ふじた りん、ささき るみ  
中学女子 形の部 優勝  
深谷 陽菜、関谷 楓、佐々木 彩華ふかや ひな、せきや かほ、ささき あやか  
Aブロックは、7月30日(土)～31日(日)  
に岩手県盛岡市アイスアリーナで行われ  
た第59回小学生・中学生全国空手道選手  
権大会に出場しました。

## 木彫り匠人へ感謝状贈呈

市に対し、菅原道真公や天狗面の木彫りなどを寄贈されている島田幸作さんへ感謝状を贈呈しました。

島田さんは正月や祭事で舞い踊る獅子頭、まつりを練り歩く神輿、山車などの木彫り作品を作られています。ノミを巧みに操り、表情豊かな作品を寄木の組み合わせから仕上げまで、すべての工程を一人で行っている、笠間に息づく匠人です。「今後も笠間の各地区にちなんだものを作成して、地域活性化に少しでも役立てばとの思いがあります」と話してくれました。



左から山口市長、島田さん

## 「地域交流センターともべ」のために

福島清さん（八雲）から、現在建設中の地域交流センターともべの完成に先立ち、市に対し寄附金をいただきました。

福島さんは「地域交流センターともべのために役立ててほしい」と話されました。

寄附金は、多くの市民の方々に利用してもらえる施設となるように、有効に使わせていただきます。



左から山口市長、福島さん

## 自分を「キラリ☆」と知らせる反射材

反射材着用推進リーダー（キラリリーダー）委嘱式が、5月24日（火）に行われ、笠間市高齢者クラブ連合会（会長 鈴木早苗）役員に、笠間警察署長と笠間市長連名による委嘱状と配布用の反射タスキ等が手渡されました。キラリリーダーの方々は、高齢者の各種スポーツ大会等において反射材の着用を推進して、着用者の輪を広げていきます。

反射材の着用は、夕暮れ時や夜間、運転者に自分の「存在を知らせる」ことができる簡単かつ有効な手段です。「自分の身は自分で守る」を徹底し、外出するときは必ず着用しましょう。



キラリリーダーに委嘱された皆さん

## 県内初！日本体育大学との連携協力

7月11日（月）に、市と学校法人日本体育大学が、体育・スポーツおよび健康づくりにおいて、お互いが持っている教育資源を有効かつ適切に活用するため、県内で初めて、連携協力をする協定を締結しました。

協定締結式の中で、松浪理事長は「これからもスポーツを通じて地域を盛り上げていき、多くの人々の模範になるようなアスリートを育てていく。そして、オリンピックを通して、子どもたちはスポーツをすることに夢を持ち、高齢者の方々はスポーツを楽しみながら健康を維持できるよう貢献したい。」と熱く思いを話されました。

今後は、茨城国体や東京オリンピック・パラリンピックに向けた意識高揚のため、講演会の開催や大学からのスポーツ指導者の派遣などを通して連携を深めていきます。



左から山口市長、松浪理事長